



No. 81

鹿私幼 だより

会 報

（一社）鹿児島県私立幼稚園協会

発行人／上原 樹縁 編集／調査広報委員会
〒890-0064 鹿児島市鴨池新町5番6号

（プロパングス会館5階502号室）

TEL099-285-6688 FAX099-285-6689

ホームページ <http://muzoca.net>

E-Mail jimukyoku@muzoca.net

『すべての事柄を善意で受けとめ、感謝で返す』 という生き方

鹿児島県私立幼稚園協会

会長 上 原 樹 縁



今年度も振り返ると、園や家庭などで新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に追われた一年でした。特に新年を迎えてからは、感染者の爆発的な増加に伴い、感染防止はもとより濃厚接触者やそのまた接触者…などといった情報に一喜一憂する日々をお過ごしのことと拝察いたします。

令和3年度はコロナ禍での2年目……。当協会も前年度の経験値を踏まえ、安全に配慮しながら、時間短縮や規模縮小、オンライン（ハイブリッド）での各種研修会や会議を開催いたしました。「全日本私立幼稚園連合会九州地区会教師研修大会鹿児島大会（オンライン）（8/5～6）」は1,800名を超えるエントリーのもと全体会や13の分科会を成功に導いていただきました。また「県設置者・園長研究協議会（9/28）」では、一昨年（令和2年）の当協会創立70周年記念を祝し、年度を越えての式典開催や、すべての加盟園148園の現況報告を記念誌でさせていただきます。これらは偏に、皆様のご理解ご協力の賜と心より感謝申し上げます。

話は変わりますが、「人生は心ひとつの置きどころ」という言葉があります。目前におきた事実は変わらないが、その事実をどのように解釈し、どのような心持ちで向き合うかで、人生は大きく変わっていくという教えです。私は、この言葉を思い出すたびに、今起きている事象は、自分が成長するために神様から贈られた問題集だと捉えるようにしています。少し格好をつけて言うなら、目の前に起こる全てのことから「学ぶ覚悟を持つ」ということでしょうか。

自分にとって都合のいいことも悪いことも、

そして成功も失敗も、当たり前のように私たちについて回ってきます。それをそのままにせず、大切にしていくことを始めると、どんなことから学べ、成長することが出来ると思うのです。何でこうなったのと悲嘆にくれるより、前を向く姿勢がきっと私たちプラスをもたらしてくれます。子どもたちの想像を超えた言動や、保護者への対応に、日々奮闘し、泣き笑いを繰り返している保育者の皆さんも、そうであってほしいと思います。大切なことは、「すべての事柄を善意で受けとめ、感謝で返す」を自分の考え方の基本にすることではないでしょうか。

この一年も、皆さんと一緒にたくさんの学びの機会を賜りました。これからの一年も、たくさん学んで、しっかりと進化していきましょう。

私は今改めて、「すべての事柄を善意で受けとめ、感謝で返す」という生き方を、自分の人生を通して、しっかりと丁寧に取り組んでいきたいと思っています。職場や職業、そして地域社会を通して、人材育成の恩返し・恩送りを果たしていきたいです。業界はもとより、地域社会の次世代育成に、今後も自分なりの役割を果たしていきます。

『全ては子どもたちの「今の幸せ」のため！そして「未来の幸せ」のため！』と、これからも胸を張っていけるよう、全員プレー・全力プレーに努めます。

最後に、今年度も当協会の事業活動に対し、多大なご理解ご協力を賜りました。協会役員を代表致しまして、心より感謝申し上げます。コロナ禍が収束に向かい、会員の皆様と直接お会いできる日を心待ちにしております。

コロナ禍における各種研修会の実施について（報告）

教育研究委員長 室屋 賢三

I 令和3年度の活動を振り返って

令和3年度の研修は、新型コロナウイルス感染症（以下コロナとする）禍の中であって、対面での研修開催が難しかったため、九州地区会第37回教師研修大会鹿児島大会をはじめ各地区・ブロックにおいても研修会は、Zoomを活用したオンラインで開催せざるを得なかった。

反面、これらの経験により、先生方のZoomに対する取扱いがスムーズになり、オンラインの研修に抵抗なく参加できるようになるなど、一定の成果があった。

今後は、対面、オンライン、ハイブリッドなど、より効果的な研修方法を考え、先生方が参加しやすい環境の中で充実した研修を開催していきたい。

1 新規採用教員研修会

新型コロナウイルス感染症の影響下ではあったが、感染対策を十分にとり、4月2日に第1回新規採用教員研修会を唯一対面方式で開催した。第2回新規採用教員研修会は、12月21日に感染症の影響を考慮し、Zoomを活用し、オンラインで開催した。

受講者からは、「コロナ禍にもかかわらず研修会を開いてくださってありがとうございます。」という感想が多数あり、対面及びオンラインで両日とも開催ができて良かったと感じた。

2 主任等研修会

主任等研修会は6月22日に初めてオンラインで実施した。講師を鹿児島市の子ども支援室に依頼し、児童虐待の実情と対応について、また、県教委の指導主事に幼児教育の現状と課題について講話をいただいた。行政との連携という点からも意義のある研修会となった。

3 第22回乳幼児教育・保育実践講座 免許状更新講習（選択）

7月20日、免許状更新講習を兼ねた研修会を開催した。昨年度は、コロナ禍で中止としたが、感染対策を十分にし1日開催に変更し、対面で実施した。教員免許状更新講習は、5人の参加にとどまった。

次年度は、免許状更新講習の発展的解消に伴い、中止の方向で検討している。

4 九州地区会教師研修大会鹿児島大会及び第60回鹿児島県教職員研修大会鹿児島大会

全日本私立幼稚園連合会九州地区会第37回教師研修大会及び第60回鹿児島県教職員研修大会鹿児島大会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、九州大会として初めて8

月5日、6日にオンラインで開催した。

実行委員会としては、オンラインで開催する決定が3か月前であったこと、さらにスタッフ全員がオンラインでの開催は未経験であったことなどから、毎日が綱渡りの状況で進んでいった。

しかし、本県の問題提起園はもちろんのこと、九州各県・各園の温かいご支援をいただいで、1,819人の先生方の参加による充実した研修会を開催することができた。

5 キャリアアップ研修会

第1回キャリアアップ研修会を、10月19日、第2回を2月1日にZoomを活用してオンラインで開催した。15時間のマネジメント研修が必須要件であるため一昨年から実施している研修である。

新しい講師も加わり、たいへん充実した研修となっている。次年度は、より多くの会員が受講できるよう土曜開催なども見据え、さらに工夫をしていきたい。



6 保育教諭等研修会

11月9日にZoomを活用し、オンラインで開催した。例年、2日間で実施し、講習も取り入れているが、1日開催としたために講習を省くこととなった。コロナが落ち着き、ダンスなどの講習を取り入れた充実した研修を再開したい。

7 第24回幼稚園等教育改善研究会

例年2日間にわたって開催していた研修会であったが、本年度も、コロナ防止の観点から1月21日にオンラインで半日開催とした。懇親会も2年連続中止となっている。園長先生方の参加も少なくなっており交流の機会も減少していることから、例年どおり、情報交換の場となつてほしいと考える。

鹿児島市と各地区とで交互に会場を変えて開催してきていたが、一昨年から講師の旅程の問題、会員の参加のし易さ等を考慮して、当分の間、鹿児島市で開催することになっている。今後も鹿児島市での開催を継続してい

きたい。

8 特別支援教育スキルアップ研修

昨年度に引き続き、オンライン「スキルアップ研修」を2月17日に独立行政法人国立特別支援教育総合研究所上席統括研究員の久保山茂樹先生の講義を通して実施した。前年度の動画を視聴し、視聴後の気づきをブレイクアウトルームでシェアすることや課題について久保山先生に解説していただくなど、新しいスタイルでの研修の進め方に挑戦した。オンラインによる研修会であるが、今後のオンラインの研修の方向性を探る研修会になった。

9 各支部・ブロックごとの研修

各支部・ブロックの教育研究部員を中心に企画・運営され、年間計画に基づいた研修が実施されている。コロナ禍の中で感染予防の

ためほとんどの計画がZoomを活用したオンラインによる研修の開催となっている。

各園では、幼稚園ナビを活用した受講申し込みも軌道に乗り、ほとんどの園でスムーズな申し込み、シールの発行等ができており研修の充実につながっている。

II 令和4年度に向けて

令和4年度は、コロナのために第61回教職員研修大会始良・伊佐大会を初めてのオンラインにより開催予定である。この大会の運営が今後のオンラインによる大会の在り方のペースになることから始良・伊佐地区と連携をとりながら準備を進めていきたい。

また、次年度もコロナ禍の状況が続く場合は各種研修会及び部会等は、状況に応じて対面、オンライン、ハイブリッド方式で実施していく予定であるので、各園のご理解とご支援をお願いしたい。

政策振興委員会

令和4年度に向けて

政策振興委員長 島谷 精利

新型コロナウイルス感染症の流行により様々なところに影響が出るなか、すべての子どもに質の高い幼児教育を保証することや子どもたちの最善の利益の実現のため日々設置者・園長先生方は努力されていることと思います。

さて、改善新制度の下、施設型給付の園に対しては、処遇改善や処遇改善パート2等の様々な加算がなされています。私学助成の園に対しても処遇改善が行われていますが、制度の違いにより同じような補助とはなっていません。

また、令和4年2月より保育士・幼稚園教諭等に対する3%程度(月額9,000円)の処遇改善が行われました。しかし、施設型給付の園では、100%国負担ですが、私学助成園では、25%が園負担となっています。令和4年10月からは、50%の負担が必要となります。

私学助成の園でも施設型給付の園と同様に人材確保が重要な問題となっており教職員の処遇改善の実施は重要な課題となっていることは事実であります。

令和3年度も、私学助成と施設型給付と言う二つの立場で予算の要望や陳情を行ないました。令和4年度も様々な形態の施設が混在する中での活動となります。要望先が県だけでなく市町にも行うことになっています。特に令和元年10月より幼児教育・保育の無償化が始まりその手続きや新型コロナウイルス感染防止の補助金の手続きを市町にする等関係が深くなってきて、市町への要望等は、各地域の園での交渉となることも多くなっています。

つきましては、各地域の行政機関との繋がりを深め良好な関係を築いていただきたいと思います。

今後も皆様のご意見を元に実情に即した活動と前年度同様以上の予算獲得に努力していきたいと思えます。

1 これまでの政策委員会の経緯

(1) 公明党(国会議員、県議、市議)

昨年に引き続き公明党との意見交換会が開かれ子ども・子育て支援新制度等についての意見交換を行いました。

(2) 自民党友好団体意見交換会(国会議員、県議、鹿児島市議)

子ども・子育て支援新制度について、私学助成と施設型給付について等の意見交換を行いました。

(3) 自民党県議団私学振興等教育問題調査会幼稚園協会意見交換会

調査会に説明を行い新制度について理解を深めて頂きました。

私学助成園に対する処遇改善が実施されましたので、補助の充実と利用しやすい仕組みとなりますよう要望しました。

人材確保のための給付型の奨学金の利用要件の緩和等を要望しました。

幼児教育の質の向上のために幼児教育センターの設置を要望しました。

(4) 県知事への予算要望書提出

例年私立幼稚園の「経常費補助金」への財源措置並びに現在予算化されている項目の補助金について、可能な限りの引き上げと新制度下での変化に対応する予算措置等をお願いしました。

幼児教育の質の向上のために幼児教育センターの設置を要望しました。

退職金社団への補助金の増額を要望しまし

た。

2 今後の課題

平成 27 年度からの子ども・子育て支援新制度のもと、施設型給付園には処遇改善等の各種加算が始まり、平成 29 年度から私学助成の園に対しても処遇改善が行われ、令和 4 年 2 月より保育士・幼稚園教諭に対する 3 % (月額 9,000 円) 程度処遇改善が行われました。

しかし、制度の違いにより、施設型給付の園に比べますと私学助成の園の方が、改善できる額や改善に対する負担が大きくなっています。

教職員の処遇改善につきましては、制度上、施設型給付園と私学助成園の処遇改善費用が同額となることは難しいと思いますが、可能な限り近づけるように要望していききたいと思います。

幼児教育への公費負担が増加する中で幼児教育の質の向上が強く求められています。幼児教育の質の向上のためにも、鹿児島県にも幼児教育センターの設置が急務と言えます。幼児教育センターの設置のための委員会の創設を要望するなどして、幼児教育センターの早期設置に向けて努力していききたいと思います。

令和元年度 10 月から幼児教育・保育の無償化が始まり、事務作業量の増加や預かり保育時

の増加による保育の質を保証することの難しさ、幼児教育時間に係る準備時間の確保の難しさなど様々な問題が起っています。これらの事象について引き続き情報を収集し対処していきたいと思います。

(一社)鹿児島県私立幼稚園退職金基金社団への定額補助金が 7000 万円から 3500 万円に減額されたことで、将来的に社団の運営が安定した継続的に運営できなくなる可能性がありますので、社団の運営が安定的かつ継続的に運営できますように補助金の復活若しくは増額を要望していきます。

令和 4 年度も引き続き、県を通じて、各市町村の担当者に、公私幼保並びに地域間の格差がないように指導して頂けるように努めますので、公私幼保並びに地域間の格差が無くなる様に各支部ブロックにおいても近隣の幼稚園や認定こども園・保育所などと連携し情報を共有して、各担当市町村に対し要望して行かなければならないと考えられます。

今後も、支部・ブロック・各園が市町村の担当課との良好な関係を築くことが重要となりますので、そのような関係を結べるよう努力しなければならないと思います。

経営研究委員会

活 動 報 告

経営研究委員長 武 祥三

令和 2 年度から始まった 2 カ年目、まとめの令和 3 年度に計画した主な活動は以下の通りです。

- ① 令和 2 年度財務状況調査及び分析
- ② アミュ広場での合同就職説明会開催
- ③ 県協会 70 周年記念式典向け DVD 作成計画 (事業縮小のため取りやめ)
- ④ 県協会 70 周年記念式典ならびに県設置者・園長研究協議会
- ⑤ 第 37 回全日本幼稚園連合会九州地区会 設置者・園長研修大会 大分大会 ならびに九州地区次世代交流会開催 (中止)
- ⑥ 全国 (福島県) 設置者・園長研修大会への参加
- ⑦ 九州地区合同就職説明会 (福岡市) への参加 (参加できず)
- ⑧ 私立幼稚園 4 団体教育交流会 (中止)
- ⑨ プロジェクト K の活動支援
- ⑩ オンライン合同就職説明会の計画 (未実施)

令和 3 年度の大きな成果としては、対面式合同就職説明会「かごしまの幼稚園就活応援フェア」をアミュ広場において開催できたことです。コロナ感染症の厳しい状況の下、感染の広がりが若干弱まっていた 6 月 19 日に、午前午後の 2 グループ

に分かれて、41 ブースの参加で行いました。幸い天気に恵まれ、午前の出足はまずまずでしたが、午後は対照的に足を運んでくださる方もまばらになり、集客や広報などなど課題も多く感じることでした。各園において大きな課題となるのは人材確保だと思います。対面式・オンライン形式など、新卒者だけではない中高校生までを対象とした活動を、令和 4 年度以降の活動には取り入れて参りたいと思います。多くのアイデア・アドバイスもお聞かせください。

秋には、2 年ぶりの県設置者・園長研究協議会を開催しました。同時開催の県協会 70 周年記念式典は、規模を縮小しながらも実施でき、2 年間の準備が実を結びました。実際は 71 年目の式典となったわけですが、協会 70 年余りの年月にはきつと、今のコロナ禍とは異なる困難を乗り越えての幼稚園協会があるのだらうなあと感慨に耽る式典でした。表彰された先生方おめでとうございます。そして裏方に徹して準備いただいた先生方事務局の皆さま、ありがとうございました。

課題をしっかり引き継ぎ発展する委員会活動となるため、部員それぞれの良さや力が生かせる委員会にして参りたいと思います。今後とも応援よろしく願いいたします。

瑞宝単光章を受けて



井上 恒夫
いちき串木野市
学校法人 串木野学園
幼保連携型認定こども園
くしきの森のこども園
理事長・園長

昨年春の叙勲において受賞をいただきましたことは思いがけないことでありました。私ごとき者がこのような叙勲をいただける社会的な貢献をしてきたことではありません。

現在は平成28年4月より認定こども園の運営に従事して6年、幼稚園協会においてご縁のなか諸先生方にご指導をいただき園の運営に関わってまいりました。認定こども園制度を国が策定され、これからの日本の保育教育のあらたな進展と充実を図り質の高い乳幼児の保育教育の目的にこれからも歩みたいと思います。

昭和56年より保育園事業（宗教法人から社会福祉法人に変更）に従事してきたなか、幼稚園事業（学校法人）に平成2年に従事し、平成28年4月より両園を統合して今日まで約40年が経過することになります。その間諸制度が変わり少子化など園をとりまく社会状況が大きく変遷してきました。これからもおそらく様々な課題が出てくるのであります。幼稚園協会が発足した当時、先覚者であり厳しい状況のなか各園の設置者・園長・職員の方々が将来の幼児教育を語り合い心ひとつにして日夜幼児教育についての展望を持たれたに違いありません。

70周年を迎える今、「温故知新」のごとく先達の方々のご労苦を心に置きながら園の健全な運営と幼児の保育教育に歩んで参りましょう。移りゆく世相のなか変わることのない「幼児期は人間の人格と心を育てていく場」として大きな責務を与えられています。

鹿児島県知事表彰 鹿児島県私立学校教育功労者表彰を受けて



原田 謙二
霧島市
学校法人 隼人学園
隼人ひまわりこども園
理事長・園長

この度私ごとき者が教育功労者表彰を受け恥ずかしさでいっぱいです。鈍感な私を指導して下さった園長先生方・同僚・保護者・園児・家族すべての皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。思えば、35年前にご縁があり10年間務めた流通業界から幼児教育業界へ転職することになりました。まずは幼児教育学を学ぶために鹿児島大学・玉川大学のスクーリングに通ったことがついこの間のことのように感じます。「発達とは遺伝と環境の相互作用で起こる」「歌うことの楽しさ」「保育は対話と共感」「五感を通して生きる力育む」「子ども主体で意欲と思いやりを引き出す」など永遠の研究課題ができ、始良伊佐支部教育研究部・鹿児島県教育研究部において研究・研鑽出来たこと大変有意義で楽しい経験でした。又園長としてPTA保護者様とともに保育料軽減のための就園奨励補助金増額運動・幼児教育無償化運動の展開に関われ無償化できたことも嬉しく思います。今の保育課題は社会環境がIT・AI社会に急激に変化している中で子どもたちに身につけてほしいものは何か？それは「創造性」や「非認知能力思いやり」だと思います。子どもたちが何ごとにも不思議だな？どうしてだろう？と思う好奇心を育ててあげたいです。そのために子どもたちが自然環境のもとでたっぷりと騒ぎ、遊び込みができる保育環境づくりに努めます。これからも明るく明るく前向きに子どもたちと健やかに成長できるように頑張ります！

文部科学大臣優秀教職員表彰を受けて



藤原 美絵子
鹿児島市
学校法人 伊敷町学園
認定こども園
伊敷幼稚園
主幹教諭

このたび、『令和2年度文部科学大臣優秀教職員表彰』という大変名誉ある賞をいただきましたこと、誠にありがとうございます。コロナ禍ということで、表彰式はオンラインとなりましたが、光栄にも私立学校の部の代表として皆様の前で表彰状をいただきました。このことは、自分にとってこの上なく光栄なことであり、身の引き締まる思いでいっぱいでした。この受賞は、今までご指導くださった県・市私立幼稚園協会の皆様をはじめ、自分の周りで支えてくださる多くの先生方のおかげだと心より感謝致します。

ここ数年コロナウイルスの影響で、今まで当たり前前にできていたことが思うようにできなくなりました。子どもも保育者も常にマスク着用、感染対策と向き合いながらの毎日です。行事計画を見直し、保育環境を常に考え続ける日々が続いています。そんな中、子ども一人ひとりの成長や笑顔、クラスで団結して頑張る姿が見られると本当に嬉しく思います。子どもたちの一番大切な『学びの場』や『遊びの場』がなくなることがないよう、これからも努力していきたいです。

保育現場でもICT化の取り組みが始まっています。まだまだ知らないことも多く、その便利さに驚くばかりです。新たな分野の知識も広め、保護者の方が安心して預けられるよう、保育の更なる見える化、また、教職員が楽しく意欲をもって働ける職場作りを目指してこれからも精進していきたいと思っています。

鹿児島県私立幼稚園協会功績表彰(教育功績)を受けて



三月田 智子
鹿児島市
学校法人 鹿児島電谷学園
幼稚園型認定こども園
和光幼稚園
主幹教諭

このたび、鹿児島県私立幼稚園協会功績表彰をいただき、衷心から感謝申し上げます。このような身に余る栄誉を賜り、驚きと共に光栄に存じております。

今回の受賞は、鹿児島県・市私立幼稚園協会の皆様をはじめ、これまで私に多くをご指導くださった園長先生や先輩の先生方、同僚そして保護者の皆様のおかげと心から感謝しております。

この2年余りは、新型コロナウイルス感染拡大の渦中において、主幹として果たす役割について、日々悩み葛藤しながら幼稚園運営を進めております。

そのような状況にあっても、子どもたちの明るい笑顔や目標を決めて頑張る姿に、大きな喜びや感動を感じるとともに、『子どもたちのために何ができるのか』『子どもたちのために何をしなければならぬか』と、教師としての使命感を奮い立たせられ、職員一丸となって教育・保育に努めてまいりました。

今後も、どのような状況下においても、子どもたち一人一人を大切にしつつ、その良さを認めていきながら、子どもの可能性を引き出す教育・保育に努めてまいりたいと思います。そして、様々なご縁を大切にしながら自己研鑽に努め、『教育は人なり』と言われるように、より一層精進してまいりたいと思います。

終わりに、幼稚園教育に携わっておられる全ての皆様のご健康とご活躍を念じ申し上げます。

鹿児島市支部

鹿児島市支部では、総務・政策・経営研究・教育研究・広報の5常置委員会を設け、それぞれの委員会が年間計画を立て実践したが、令和3年度も新型コロナウイルス感染防止の関係で、思うような活動ができなかった。

1 重点課題

- (1) 各補助金の増額要望と「コロナ対策費」について安定した補助金についての要望
- (2) 幼稚園教育要領や幼保連携型認定こども園の趣旨を生かした保育研究の実践
- (3) 教員の資質向上を目指す各種研修会への参加促進
 - ・コロナ禍での研修機会の確保
 - ・各ブロックの研修活動と園内研修の充実
- (4) 自己評価及び学校関係者評価の実施と公表の充実
- (5) 幼稚園・認定こども園の学びを社会に認知してもらうための企画充実
 - ・「リビングかごしま新聞」との連携を図り、幼稚園・認定こども園の認知度を高める
- (6) 円滑な接続を目指した幼保小連携の充実。小学校長会との連携・充実
- (7) 個々に応じた発達支援の在り方と個別の指導計画・支援計画の作成
- (8) 幼児の健やかな育ちのために、保健・衛生・食育の充実
- (9) 安心・安全で楽しい幼稚園の環境づくりへの取組み強化

2 総務委員会

- (1) 「ホームページだより」の充実を図り、情報の共有化を図る。
- (2) 幼稚園免許の上進に向けての情報提供
- (3) 「私立幼稚園・認定こども園ガイドブック」の作成と、公共機関や大学等に配布

3 政策委員会

- (1) 市当局への助成等の要望（市長・局長・議長・振興議員）と子ども未来局との連携
- (2) 加盟園全園の一致協力した活動の取組みとPTA・振興議員との連携
 - ・振興議員との懇話会（7月30日金曜日）※3歳児保育運営費削減について議論

4 経営研究委員会

- (1) 理事長・園長研修会にて、働き方改革に関する研修を企画したが、新型コロナウイルス対策のため、6月・8月とも中止しせざるを得なくなった。

5 主幹・主任・中核リーダー等研修会

12月23日（木）マリンパレスで対面で実施
講師 丸田愛子氏（鹿児島女子短期大学准教授）
「カリキュラムマネジメント」
講師 千々岩弘一氏（鹿児島国際大学副学長）
「ことばが紡ぐ人間関係」

※コロナ禍だったが、安全を期して対面で実施

6 教育研究委員会

①教師の資質向上と指導力向上のための研修の充実 ②研修会の参加促進 ③主幹・主任教諭の資質向上（主任等研修会の充実） ④主任研修会は、4月・7月は対面、9月（オンライン）で実施

7 広報委員会

①「かごしま市私立幼稚園・認定こども園だより」の発行 ②新入園児募集活動の広報

8 今年度新型コロナウイルス感染防止のため中止した企画

(1)理事長・園長会議と研修会（6月8月共に中止）(2)8月の主任等研修会 (3)PTA役員との懇話会 (4)「かごしま市私立幼稚園・認定こども園フェスタ」(5)「絵本の読み聞かせ活動」発表会

（支部長 富永 宏）

南薩支部

南薩支部は、枕崎市2園、指宿市6園、南さつま市2園、南九州市2園の計12園が加盟しています。

令和3年度南薩支部の活動としては、新型コロナウイルス感染症の影響で研修会などの行事ができておりません。

2月に研修会を開催する計画でしたが、やむなく中止になりました。

南薩支部の園長会、主任会、教職員の皆様に、心からお詫び申し上げます。

南薩支部PTAは、総会を開催できましたが、研修会、ミニバレー大会は、中止になりました。

コロナ禍が落ち着きましたら、園長会、主任会、研修会も開催して、様々な課題に対処してまいります。

今後も、南薩12園の連携を深めながら支部活動を盛り上げてまいります。

（支部長 下川床 泉）

支部



西薩支部

西薩支部は、北は出水郡長島町から南の日置市までと南北に細長い支部です。令和3年に、もみじこども園と江内みかんこども園の2園が加わり加盟園が20園になりました。

今年度は、夏の西薩支部教職員研修大会をリモートで開催し、アメリカから大石貴子先生より「子どものジェンダーについて（虐待、子どもの権利）」の講演をして頂きました。講習では、日本幼年教育研究会の高附恵子先生より「これからの保育を考える～ふれあいあそびと新聞紙遊び～」をして頂く予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い残念ながら中止となりました。

その他、園長会、主任会、教育研究委員会、給食担当者会議などリモートで行うことができました。

リモート会議やリモート研修会を実施することで、今まで縦に長い支部の特性で集まりにくいということが有りましたが、リモートの活用でこの事が解消され親密に意思の疎通が図れたと思います。

支部PTAの活動として例年行われる、西薩ママさんバレーボール大会は、新型コロナウイルス感染症の流行により行うことができませんでし

た。

まだまだ、コロナ禍で対面での行事や研修は難しい状態ではありますが、状況に応じて対面での行事を行うことができればと思います。

各園では新しい日常を求められる中で、子どもたちに最良の保育を提供するべく尽力されていたことと思います。

令和4年度は、良い活動ができますように努力します。

(支部長 島谷 精利)

大 隅 支 部

大隅支部では、3月23日の支部総会で今年度の活動をはじめました。「大隅地区私立幼稚園教師研修大会」を6月5日、ホテルさつき苑で開催。2年ぶりの対面での研修会は昼食を挟まずに午後からスタート。藤川和也先生（鹿児島女子短期大学講師）をお迎えして、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を踏まえた保育実践」と題して講演をいただき、後半の分科会では問題提起園である末吉中央幼稚園のレポートを中心に熱心な討議が行われました。同園は問題提起者の八木由佳

先生を中心に、8月の九州大会第8分科会での発表に臨まれました。また「主任研修会」は隔月奇数月、年6回開催。最初の2回（5、7月）は対面で行い、9月以降はZoomを使って様々なテーマに基づき学びと情報交換を重ねました。中でも1月はGoldKids代表、作業療法士の金子信夫先生を講師に、特別支援教育に特化した研修会となりました。令和5年度より処

遇改善Ⅱの研修適用要件が始まるのを前に、支部においても特にマネジメント分野の研修ニーズが高まっている中、次年度は研修チームを作って実行に移したいと考えております。21園の大所帯ですがPTA活動も含め全園大変協力的で心から感謝しています。



(支部長 吉井 健)

始 良 ・ 伊 佐 支 部

コロナ禍における令和3年度も取り巻く環境は大変厳しい状況だったように感じます。支部においてはZoomを導入しており、リモートを活用することにより諸会議や研修会等を実施することが出来た。コロナ禍が続くようであれば今後も状況に応じてZoomを活用した園長会・主任会・各種研修会等を実施していく予定です。

① 資質向上研修会Ⅰ・資質向上研修会Ⅱの実施教職員の資質向上と指導力向上の為資質向上

研修会を研修ハンドブック俯瞰図に沿って実施。

・資質向上研修会Ⅰ（担当：双葉幼稚園）

・資質向上研修会Ⅱ（担当：竹の子幼稚園）

② 地区教職員研修会・主任研修会・設置者園長会の実施

地区教職員研修会においては、Zoomを活用した諸会議や研修会等を実施。

③ 合同就職説明会参加

県私立幼稚園協会主催の合同就職説明会に希望園が参加。人材確保は依然厳しい状況であるが、今後に向けて支部でも検討していきたい。

④ 人材確保への対応

近年の学生就職状況を確認。県外就職や小規模・企業主導型の園へ希望する学生もいる中、人材確保については、支部においても今後へ課題が残る。

⑤ 新型コロナウイルス感染症への対応

未だ出口の見えないコロナ対応の中で、霧島市においても各園感染防止対策に取り組んでいる。今後も情報交換・情報共有をしていきたい。

⑥ 幼稚園ナビの活用

全国版総合情報ナビサイト「幼稚園ナビ」を活用した研修会の登録、受付、研修スタンプの発行等、各園スムーズに対応出来ている。

(支部長 若松 忠洋)

熊 毛 ・ 大 島 支 部

熊毛・大島支部は種子島6園、屋久島3園、徳之島2園で構成されています。

熊毛地区では年2回の定期研修を夏期研修として今年度は6月5日に、冬期研修として1月8日に実施しました。今年度もコロナ禍のなか年間予定2回の地区研修のうち夏期の研修はオンライン開催となりました。ただでさえ離島の為、全園が集まることは難しいのですが久しぶりに対面で実施出来た冬期の研修は先生方の表情からも充実したものになったと感じています。夏期研修は教研大会のテーマに基づいた各園の実践発表、問題提起園の深い研究発表を行い、冬期研修では新しい研究テーマをいただき、捉え方、2年間の研究の進め方等を出し合いました。それぞれの園で取り組み方は違いますが、深い、意味のある実践を行っています。またテーマ以外でもそれぞれの立場において現場のグループディスカッションで意見交換が行われました。また、園長会では様々な分野の研修の計画をと意見を出し合っていたいただきながら次年度の計画を立てられたらと思います。宿泊研修や公開保育を計画に入れ、数少ない合同の研修の機会を大切に学びを深められたらと思います。離島ながらの各園、様々な問題点を抱えていますがそんな時だからこそ、協力し合い、高め合いながら活動に取り組めたらと思います。支部園の皆さまいつもご協力ありがとうございます。



(支部長 岩川 臣之介)

令和4年度の主な行事（予定）＝2022＝

行 事 名	期 日	場 所	行 事 名	期 日	場 所
第1回新規採用教員研修会	4/4(月)	マリンパレス かごしま	第23回 乳幼児教育・保育実践講座	8/10(水)	マリンパレス かごしま
県私幼協会・県PTA連合会 監事監査	4/12(火)	協会事務局	第38回九州地区教師研修大会 宮崎大会	8/4(木) 8/5(金)	アートホテル 宮崎スカイタワー より配信
(一社)県私幼協会理事会	4/19(火)	未定	第13回幼児教育実践学会	8/20(土) 8/21(日)	徳島県 鳴門教育大学
(一社)県私幼退職金基金社団 監事監査	4月予定	協会事務局	第37回 九州地区PTA研修会	9/22(木)	鹿児島県
(一社)県私幼退職金基金社団 理事会	4月予定	協会事務局	設置者・園長研究協議会 (県私幼)	9/27(火) 9/28(水)	城山ホテル 鹿児島
県PTA連合会指導者研修会	5/10(火)	サンロイヤル ホテル	全日私幼設置者・園長 全国研修会	未定	未定
(一社)県私幼協会総会 (一社)県私幼退職金基金社団総会	5月予定	マリンパレス かごしま	令和4年度保育教諭等研修会	11/9(水) 11/10(木)	マリンパレス かごしま
県PTA連合会総会	5月下旬	黎明館講堂	九州地区免許状更新講習講座	11/5(土) 11/6(日)	福岡県
県主任等研修会	6/23(木)	マリンパレス かごしま	第2回新規採用教員研修会	12/26(月)	マリンパレス かごしま
第37回九州地区教師研修大会 沖縄大会	6/30(木) 7/1(金)	沖縄県	第26回 幼稚園等教育改善研究会	1/20(金) 1/21(土)	未定
合同就職説明会	未定	未定			

令和4年度（2022年度）

第61回 鹿児島県私立幼稚園教職員研修大会 始良・伊佐大会（案） オンラインによる開催（全体会はハイブリッド方式）

大会テーマ「新しい時代を伸びやかに生きる」（3年次）
～社会に開かれた質の高い幼児教育を～

〔日 程〕

第1日目 7月25日(月)【分科会：各支部・各地区のホストで】

12:30 13:00 13:10			16:15 16:20		
	受付	開会 行事	問題提起・分科会 (中間に休息・後半に指導助言)	開会行事 諸連絡	解散 退出

第2日目 7月26日(火)【全体会：ホテル京セラ ハイブリッド方式】

9:00	9:30	10:00	10:30 10:45	12:15	12:30
受 入	付 室	ビデオ 紹介	開会式 準備	講 演	開会式 解散 退出

ちゅくぱん

コロナ禍において、エッセンシャルワークである保育は、当然、必要不可欠な仕事です。自分達もコロナに感染してしまうかもしれない、そんな不安を感じながらも、保育者としての使命感をもって日々子ども達を受け入れる姿は、同じ様にエッセンシャルワークである医師などの医療従事者達と同様に、現場の先生達には「感謝」の気持ちでいっぱいです。

保育や園行事においても新たな保育の可能性を導き出しています。これまでの固定概念にとらわれず、様々な場面で創意工夫しながらコロナ禍における保育のありかたに変化も感じます。またこのような時だからこそソーシャルディスタンスは意識しながらも、保育者と子ども達の心の距離はこれまで以上に縮めていく大切さも感じます。

先行きのみえない状況ではありますが、コロナに負けずに子ども達の育ちを大切に笑顔いっぱい元気いっぱいがんばっていきましょう。

調査広報委員 若松 忠洋